

横浜市民に対する娯楽と生活習慣に関する 調査の結果について

横浜市では、本市におけるギャンブル等依存症に関する実態を把握するため、「横浜市民に対する娯楽と生活習慣に関する調査」を実施しました。このたび、調査結果がまとまりましたのでお知らせします。

◇調査の概要

- 調査対象：横浜市内の満18歳以上74歳の男女無作為抽出3,000人
- 抽出対象：市内208地点の住民基本台帳から無作為に抽出
- 調査方法：面接調査
- 調査期間：令和元年12月～令和2年3月
- 回答数：1,263人（回収率42.1%）

◇調査結果のポイント

「ギャンブル等依存症が疑われる方」の割合について

過去1年以内のギャンブル等の経験をもとにした「ギャンブル等依存症が疑われる者」の割合推計は成人の0.5%でした。

「最もお金を使ったギャンブル等」について

最もよくお金を使ったギャンブル等については「パチンコ・パチスロ」でした。

「ギャンブル等依存症が疑われる方の過去1年以内の賭け金」は、平均で1か月に25万円（※1）、中央値（※2）3万円でした。

※1 証券の信用取引、または先物取引市場への投資に係る高額案件が含まれています。（高額案件を除いた平均は1か月に3万円でした。）

※2 中央値は、データを大きさの順に並べたとき、全体の中央に位置する値です。

調査結果報告書は、下記ホームページでご覧いただけます。

【調査結果URL】

[https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/IR/chousakekk
a.html](https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/IR/chousakekk
a.html)

お問合せ先

都市整備局IR推進課 担当課長 松田 博之 Tel 045-671-4631